


語り合おうよ、三次市

「市役所改革宣言」と「夢ある街づくり」のマニフェスト・チェック

早稲田大学公共経営研究科 B班

プレゼンテーションの構成

- マニフェスト・チェック
 - 事務事業評価について
 - 財政改革
 - CATVの普及
- 私たちからの提言

語り合おうよ、三次市 

事業(政策)評価システムの導入 評価:

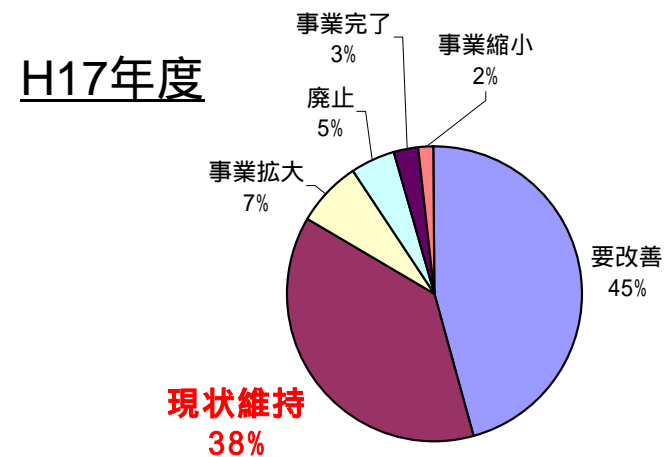
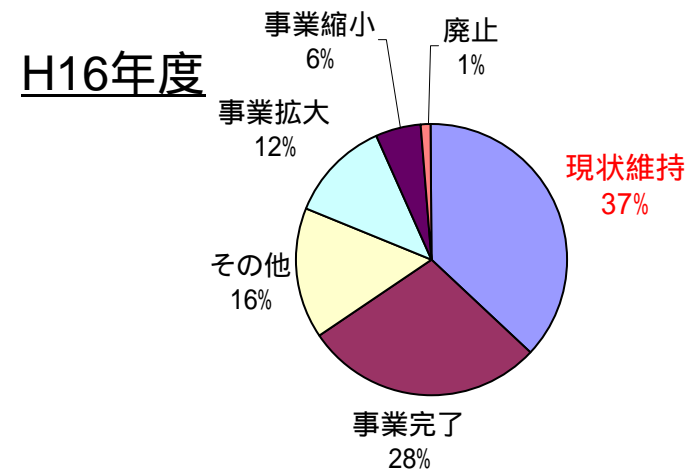
現状(聞き取り・資料調査結果)

- 平成16年度からシステム導入
- 人員配置
 - 事業推進部:総務企画部企画調整グループ (5人)
 - その内、事務事業評価は2人で担当
- インターネットで評価内容を公開
- 市が評価したものを外部評価(三次市行政チェック市民会議)で検討

評価実績

評価対象事務事業数

- H16年度： 181事務事業
- H17年度： 381事務事業
- H18年度においては、H18年度の
予算主要事業を中心に評価対象事業を抽出予定



職員インタビュー結果

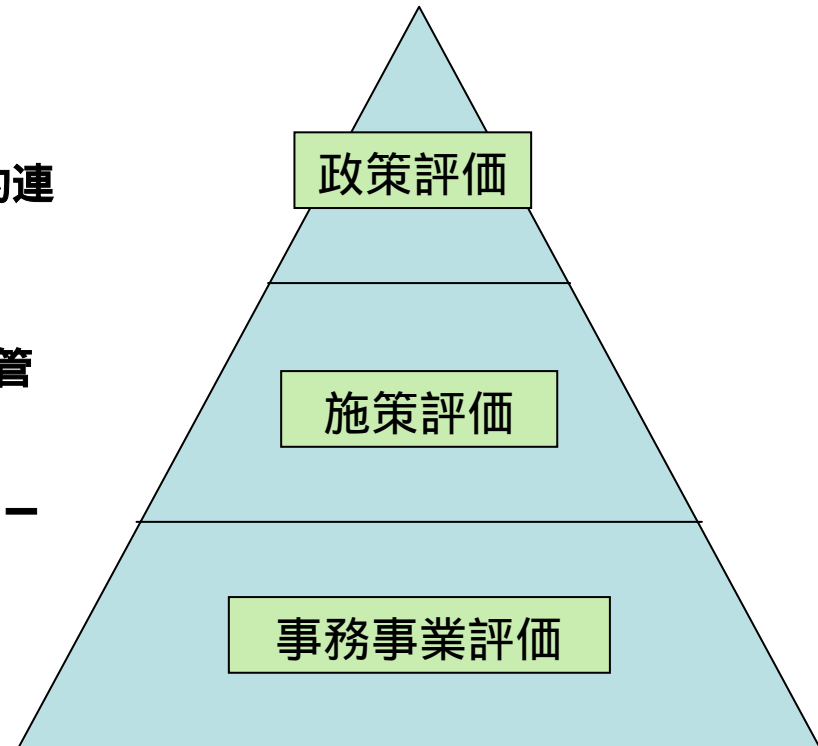
- この制度導入は職員の担当事業の理解には役立っている
- 事業(政策)評価制度の指標の設定が難しい
- 事業(政策)評価制度の難解性・複雑性により、業務量が増大している
- インターネットによる評価内容の公開による市民からの反応がない

課題


1. 評価することが目的化している。(評価結果の有効活用の視点があまり見受けられない)
2. 事務事業評価に力点が置かれている(施策評価・政策評価との有機的連携が必要)
3. 市民からの反応が少なすぎる

提言

- (1) 事務事業評価・施策評価・政策評価の有機的連携～事業(政策)評価の効果を高めるために
- (2) 事業(政策)評価を予算と連動・総合計画へフィードバック～科学的分析に基づく計画進行管理
- (3) 事業(政策)評価を市民(議会)とのコミュニケーションツールとして位置づける～市民との協働



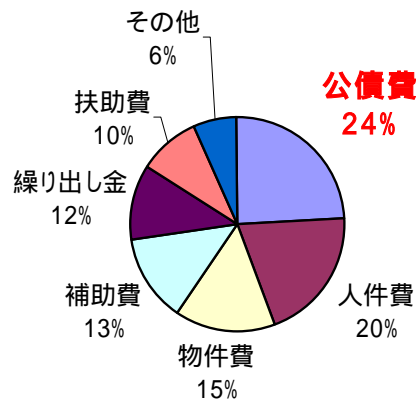
事業(政策)評価は市政についての語らいのツール

語り合おうよ、三次市 

マニフェスト 財政改革 評価:

三次市財政の現状

2005年度歳出内訳



年度毎の帳簿尻は黒字になっているが、足りない分を借金でまかなっている構造。そのため、元利支払いの負担が莫大となっている。

借金額累積で615億円*!
(水道事業等含めると800億円を超える)

☑ もちろん市の不要資産売却、基金の運用や水道局における外注等、財政緊縮の地道な努力は行っている。

☑ しかし、05年度事業計画では、115億円の事業費の内、建設事業費が99億円と、どんどん投資が増えている様子が見える。

☑ つまり、借金をして公共投資を行っている悪循環は止まっていない。

三次市が財政破綻する可能性は多いにアリ!

*交付金としてもらえる額を除く

三次市が破綻したらどうなるの？

- 破綻後の財政立て直しのために、水道料金などの公共料金が値上がりするかも！
- 一方で行政サービスはカットされたり…

保育園の月謝が高くなった！

生ゴミを一週間に一度しか回収してくれない！

学校の先生の数
が減っていく！

市からの補助金がなくなってしまう！

三次中央病院で緊急医療
ができなくなる！

さらに…

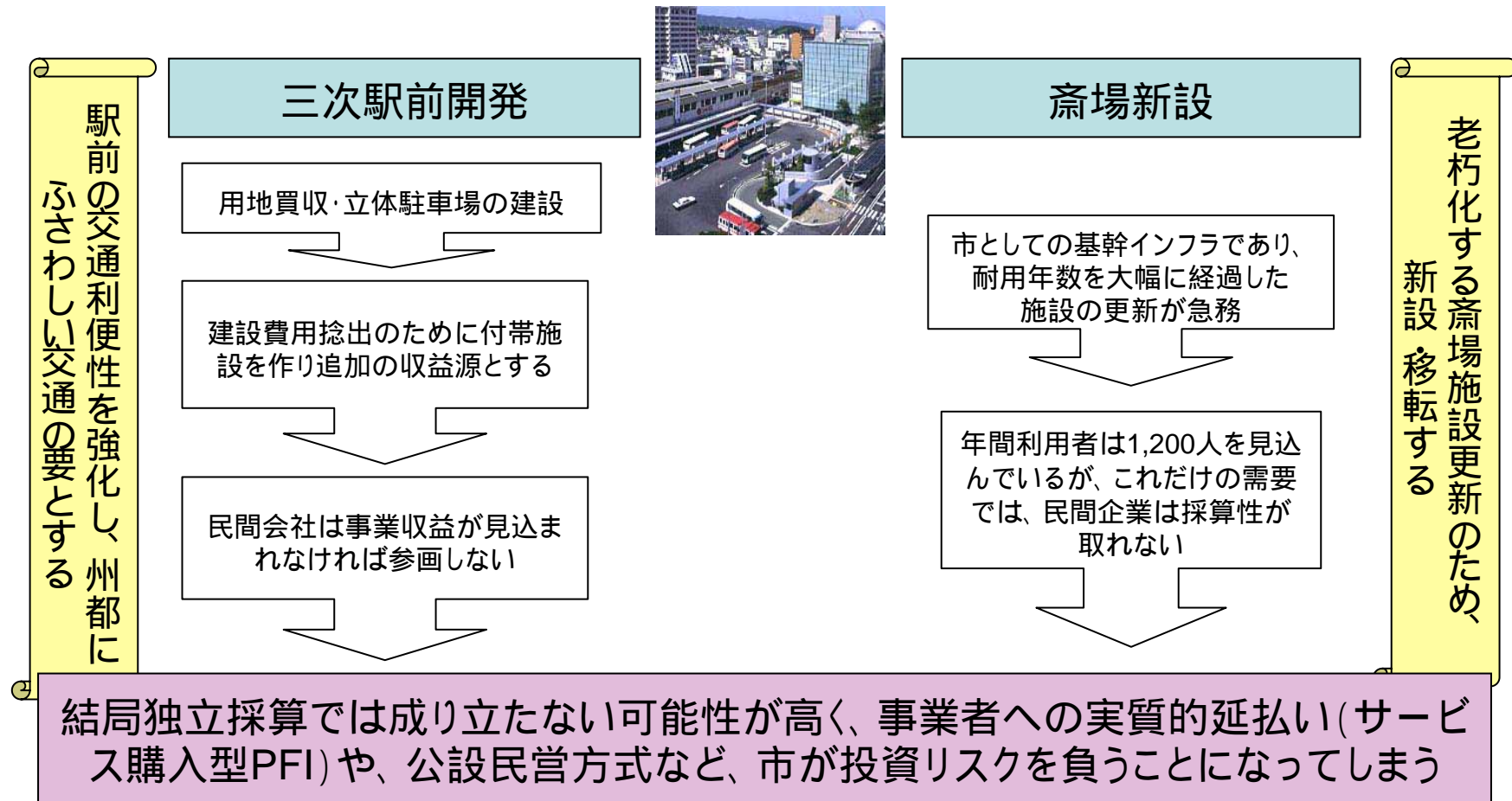
三次市の財政を取り巻く環境の悪化

- **新型交付税の出現**: 現在の地方交付税は、税金などでは補えない行政コストをベースに計算されているが、新型交付税では自治体の人口と面積で決められてしまうかも?
- **金利の上昇**: ゼロ金利解除により金利が上がると、利息負担が増える?

国も財政的に厳しいから、助けてくれないよ～ そもそも国が破綻してしまったら世界経済が破綻するから、三次市を見捨てても国の健全性は死守するはず。

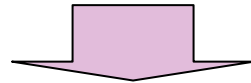


では市がお金を借りるのではなく、 できることは民間にやらせたら？




財政に関する提言

- ☑ すでに行っている事業については、行政評価と予算をリンクさせ、適正予算の検証を行う
- ☑ 費用対効果の検証を行い、効果のないものについては、EXIT戦略を明確化する
- ☑ 限りある財源という認識をきちんと持ち、新規投資の基準と優先順位をはっきりさせる



そのためには、
市の側から、市の財政状況についてのわかりやすい説明を充実させること
市民(議会)の側から、市の全体像を把握し、緊縮財政に理解を示すこと
が必要です。

語り合おうよ、三次市 

CATVの整備 評価：

現状

- CATVの整備は概ね計画通り進んでいる
- 加入率も目標値に近い

地域別放送開始時期、CATV加入率

- | | | | |
|---------|------------------------|-----------------------|----------|
| •H18.4: | 旧三次市(43.5%)
(目標50%) | 布野町(84.3%)
(目標80%) | 合計 44.9% |
| •H19.4: | 君田町・作木町・三和町 | | 合計 62.5% |
| •H20.4: | 吉舎町・三良坂町・甲奴町 | | 合計 31.4% |

- 難視聴地域・光ケーブルのない地域の加入率が高く、情報格差の是正に一役かっていると思われる
- しかし、

財政面
ケーブルテレビの将来性

- を考慮すると、その事業費にみあう効果が得られるか疑問である


財政面

- 三次ケーブルテレビジョンの資本金2億円中、市の出資金は7千5百万円。
- ケーブル事業の総事業費は約6.2億円。

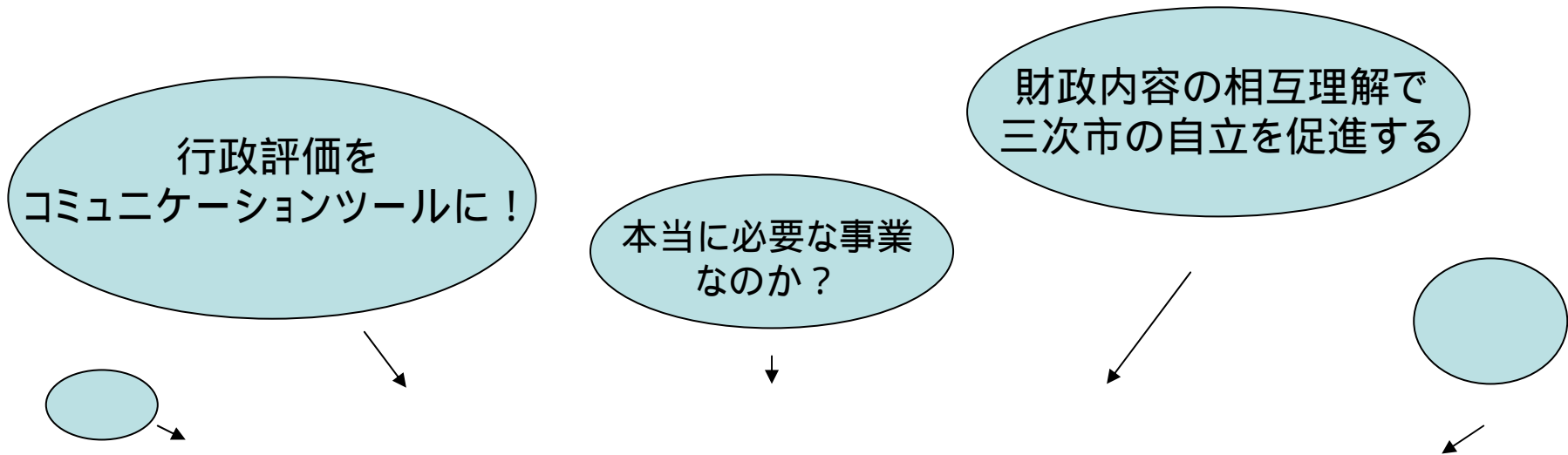
ケーブルテレビの将来性

- インターネット主流の時代に、ケーブルテレビをこれから普及させていく必要はあるのか？
- 今後、ユビキタス技術の導入が進めば、インターネットさえ、遅れた技術となってしまう。
- 新たな技術に、いつ移行するかを念頭においた視点が求められる。

ケーブルテレビが、本当に三次
に必要なものであるか

語り合おうよ、三次市 

私たちの結論



語り合おうよ、三次市



そのためのツールは??

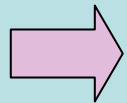
- 広報「みよし」
- HP
- CATV
- 地元テレビ局での広報番組
- 出前講座
- 市長室にいらっしゃい
- タウンミーティング

三次市には、
多様なツールがある！！

それは実際のところ 語り合いツールになっているのか？

伝えている内容

市からのお知らせ・予算編成過程・決算・行政チェック表・市長スケジュール・子育て情報・暮らしの情報・イベント情報・市内人物紹介・観光案内・市議会議事録・市の取り組み・産業情報 etc...



**提供している情報の内容も
充実している！！**

伝わる範囲と反応

媒体	どれくらいの人に伝わってるか	どのような反応があるか
広報「みよし」	全戸に配布	問い合わせ等は各担当宛のため不明
HP	日に1500アクセス	同上
CATV	現在約30%(全世帯に対して)	番組への意見は今のところ特になし
出前講座	126回2926人(6ヶ月)	意見を聞く場ではないが話すこともある
市長室にいらっしゃい	4回21件60人(4ヶ月)	同上
タウンミーティング	874人の参加	149の要望・意見

しかし、

- ・市民からの反応が思わしくない
- ・意見が共有できていない

などの課題が...

見せ方に工夫をしたり、

問い合わせ、要望の扱いを工夫したりして...

次のステップ

双方向の

「語り合い」に！！

語り合おうよ、三次市 